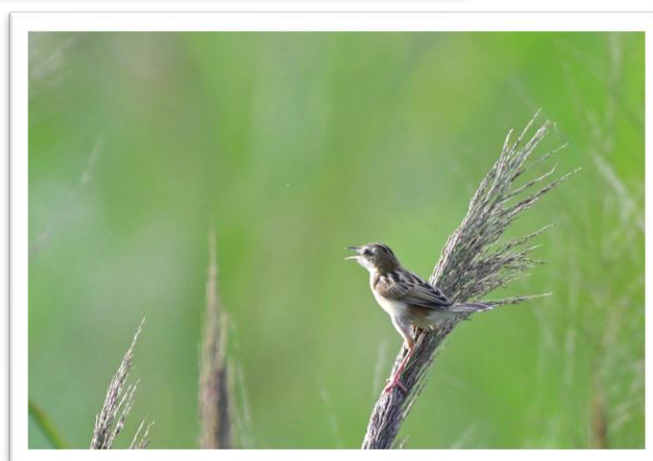


第10章

健康を支える環境づくり



1 趣旨

人々の健康は、社会経済的環境の影響を受けることが知られています。就労や、ボランティア、通いの場といった居場所づくりや社会参加は、心身の健康に影響します。

一人暮らし世帯の増加や人口減少による労働力の減少等により、コミュニティが希薄化している中、健康づくり分野におけるコミュニティの力を向上させ、健康を守るための環境整備が必要です。健康的な食生活や身体活動^(*)・運動を自然に取り入れられる環境づくりの取組を実施し、健康づくりに関心のない人なども含めて、社会全体が相互に支えあいながら、健康を守るための環境の整備を推進します。

また、地域のつながりを活用するためには、子どもから高齢者まで全ての年齢層による自助や互助を引き出すことが重要であることから、健康づくりを目的とした活動だけでなく、生涯学習や地域でのスポーツ活動、福祉、防災活動など既存の地域活動のネットワークに健康づくりの視点でアプローチしていきます。

さらに、誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備として、保健・医療・福祉へのアクセスの確保に加え、自らの健康情報や、科学的根拠に基づく健康に関する情報を入手・活用できる情報提供や普及啓発を行うとともに、市民が主体的に健康づくりに取り組むよう促します。

2 目標と取組



市・地域の取組

(1) 地域のつながりの強化

- 市民が健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組めるよう、地域で相互に支え合う地域ぐるみの健康づくりを支援します
- 地域団体、ボランティア団体、教育機関、企業などへ広く情報を発信するとともに、保健・医療・福祉の関係団体などと連携を図り、健康づくり活動が地域に根づくよう支援を行います
- 各分野の取組を、地域特性に合わせてボランティア団体と一緒にいき、多様な健康づくりの活動を推進します

(2) 健康を支えるための環境の整備

- 家族との共食が困難な状況も見受けられるため、高齢者の会食、子ども食堂での食事など地域でも共食できる場の確保に努めます
- 市専門職による出前講座や健康教室など、直接対話による広報活動の充実を図ります
- 健康無関心層^(*)を含む幅広い世代を対象とし、自然に健康づくりに取り組みたくなる環境づくりを推進します
- 企業への情報発信により、健康経営に取り組む企業を応援することで、働きざかり世代へアプローチをしていきます

- メンタルヘルスやうつ病^(*)などの精神疾患^(*)への正しい知識と理解を深め、心のセルフケアの必要性を伝えていきます
- 個々の状況に応じ正しい情報が得られるよう、情報格差に配慮した情報提供を行います
- 健康づくりに関連したボランティア団体の活動が市民に周知されるよう市公式ホームページなどを通してPRします
- 近年、新型コロナウイルス感染症や水害や地震など大規模な災害が発生し、健康危機管理に備えた健康管理や医療体制の整備が必要なため、国や県の動向を踏まえながら、医療機関をはじめとする関係機関と連携し、正確な情報発信を行い、健康危機管理体制の整備に努めます

関連する数値

(1)地域のつながりの強化

項目	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和16年度)	現状値 (国:令和元年度)
居住地で住民同士の つながりがあると思う 人の割合	47.1% ^{※1}	現状値以上	40.2% ^{※2}

※1 住民同士のつながりがあると思いますかの問いに「強くそう思う」8.0%、「どちらかと言えばそう思う」39.1%を合計した数

※2 自分と地域のつながりが強いほうだと思う割合 国民健康・栄養調査(令和元年度)

(2)健康を支え守るための環境を整備

項目	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和16年度)	現状値 (国:令和元年度)
地域活動に参加する人 の割合	40.5%	現状値以上	— (新規集計のため)

